

平成28年度 宮崎県立みやざき中央支援学校 学校関係者評価書

4段階評価

4 (A) そう思う 3 (B) どちらかというと思う 2 (C) どちらかというと思わない 1 (D) そうは思わない

評価項目	評価指標	学校の自己評価結果コメント	自己 評価	学校関係者 評価	学校関係者評価コメント															
学校経営	① 学校は、教育方針をわかりやすく伝えることができたか。	<p>○PTA総会や学校行事、学級通信や懇談等をとおして、教育方針をわかりやすく伝えることができた。95%以上の成果を確認できる。</p> <p>○連絡帳や学級通信、PTA新聞、寄宿舎懇談等により保護者と連携して指導ができた。</p> <p>○家庭支援が必要な児童生徒については、今後も関係機関との連携が必要である。</p> <p>保護者アンケートより (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>46</td> <td>50</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>54</td> <td>42</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	評価	4	3	2	1	①	46	50	4	0	②	54	42	4	0	3	3	<p>学級通信や各種だよりで学校行事や季節ごとの指導内容を知ることができた。HPも適宜更新され、話題の提供を充実していたと思われる。</p> <p>それでも、4%の保護者がどちらかというと思わない。と回答していることから、少人数の意見も取り入れて改善していくことが望まれる。</p>
	評価	4	3	2	1															
①	46	50	4	0																
②	54	42	4	0																
② 学校、家庭、寄宿舎が連携して効果的な指導をすることができたか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>46</td> <td>50</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>54</td> <td>42</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	評価	4	3	2	1	①	46	50	4	0	②	54	42	4	0				
評価	4	3	2	1																
①	46	50	4	0																
②	54	42	4	0																
教育課程	① 児童生徒や保護者の教育的ニーズに応じた個別の指導計画を作成し、指導に活用することができたか。	<p>○個別の指導計画をとおして、児童生徒や保護者の教育的ニーズに応えることに努めた。</p> <p>○児童生徒の実態に応じた教材教具の工夫をしたり、タブレット等を活用した支援も行っている。</p> <p>○小中高での系統性（一貫性・連続性）についての研究を今後も続けていきたい。</p> <p>保護者アンケートより (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>54</td> <td>44</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>49</td> <td>45</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	評価	4	3	2	1	①	54	44	2	0	②	49	45	4	2	4	4	<p>学期ごとの終業日に個人面談をして、進路指導をしてもらっているのが良い。民間からの寄贈のあったタブレットの活用も認められた。</p> <p>さらに、教材研究や小・中・高等部の職員研修も進んでいると聞いている。</p>
	評価	4	3	2	1															
①	54	44	2	0																
②	49	45	4	2																
② 学習効果を高めるための教材教具の工夫や改善をすることができたか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>54</td> <td>44</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>49</td> <td>45</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	評価	4	3	2	1	①	54	44	2	0	②	49	45	4	2				
評価	4	3	2	1																
①	54	44	2	0																
②	49	45	4	2																
教育活動	① 児童生徒は学校に行くのを楽しみにしているか。	<p>○学校や学級において登校しやすい雰囲気づくりや特性を考慮した支援に努めており、多くの児童生徒が楽しみに登校することができている。</p>	4	4	<p>教室が苦手な児童生徒については、職員が見守りをしているのが分かる。教室に入れない児童生徒に配慮がみられるので、高い評価をしたい。</p> <p>学校評議員から、各種の学校行事に来てみて、いい雰囲気だと感じると評価された。</p>															
	② 学校は、児童生徒の各課題に応じた指導を行うことができたか。	<p>○みや央祭での学部発表はどの部も完成度が高く、生き生きとした児童・生徒の表情を見ることが出来た。</p>																		

	<p>③ 職業理解のための情報を保護者や児童生徒に提供することができたか。</p>	<p>○就労している卒業生や卒業生の保護者の話を聞く機会を複数回設け、具体的で興味・関心の高い情報を提供した。 ○担任と進路支援部が連携して、適した指導や情報提供に努めた。また施設の情報収集と展示（進路室前）についても充実させることができた。 保護者アンケートより (%)</p> <table border="1" data-bbox="882 432 1294 608"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>7 3</td> <td>2 0</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>5 6</td> <td>4 1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>4 6</td> <td>4 6</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>4 6</td> <td>4 3</td> <td>1 0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	評価	4	3	2	1	①	7 3	2 0	6	1	②	5 6	4 1	2	1	③	4 6	4 6	7	1	④	4 6	4 3	1 0	1			<p>就労や進学の実績率が向上しているの がわかるので、高評価にした。</p>
評価	4	3	2	1																										
①	7 3	2 0	6	1																										
②	5 6	4 1	2	1																										
③	4 6	4 6	7	1																										
④	4 6	4 3	1 0	1																										
<p>研修・研究</p>	<p>① 職員研修の内容は適切であり、専門性や資質の向上を図ることができたか。 ② 課題研究の内容は適切で、今後の指導に役立てるための研究を行うことができたか。</p>	<p>○校内の職員研修として、外部講師や本校のコーディネーターを活用して、専門性向上や障がいの特性について研修を深めた。職員の研修出張の報告会等を設けて、一般の職員へ還元した。 ○コンプライアンス研修の機会を年2回実施した。 ○「共に生きる力」を育む新しい指導と支援づくりをテーマに、キャリア教の視点からも研究を深め、児童生徒の活動や職員の実践に還元できることを狙いとして3年間の研究を始めた。 ○現場実習や企業見学で、社会性を見識を広めることができた。</p>	<p>3</p>	<p>4</p>	<p>保護者の意識づけを図る研修や講話が 精力的に行われたことを評価したい。 P T A 専門委員会でも、研修会を開催 して、地域の事業所などと連携し、進路 情報を、特に高等部から入学してきた保 護者へ発信できたら良い。</p>																									
<p>地域交流</p>	<p>① 学校間交流や居住地交流を実施して、近隣の小中学校等の交流活動を行うことができたか。 ② 地域社会の人材や自然、文化的な環境を教育活動に活用できたか。</p>	<p>○学校間交流については計画に沿って実施して、交流や学習を深めることができた。積み重ねが啓発や深まりにつながっている。居住地校交流は小学部9名、中学部4名が希望して実施した。 ○総合学習や校外学習をとおして地域の交流や資源を活用した学習ができた。また、文化、芸術、社会教育等の専門家を招へいして教育活動に協力してもらった。 ○校外学習では、児童・生徒や行事の適正な準備を見こして、集団行動などの成果を上げることができた。</p>	<p>3</p>	<p>4</p>	<p>今年から高体連への加入が実現した。 さらに、美術部の作品を市美展にも出 展している。 コンサートや音楽の専門家を招き、児 童生徒に文化・芸術に直接ふれあう機会 を作っている。</p>																									

施設・設備・環境	① 施設や設備（遊具）を、安全に管理・維持することができたか。	○学月毎に学校施設や遊具等の安全点を行っている。PTA役員との共同点検も実施した。補修や改善も計画的に行っており、基本的な建造物の安全は管理できている。図書の貸し出しや返却の仕方がよくなってきた。 ○防災マニュアルを整備して、災害時の避難訓練を実施するとともに、メールによる配信を行っている。全家庭への配信に向けて、加入率の向上を図った。 ○離脱者対応については、特に初動を迅速に行うための共通理解を図る研修を行った。 保護者アンケートより (%)	3	4	本年度から、PTA役員と職員と一緒に安全点検を実施した。普段、職員の方々がどれだけ気をつけて、安全に気配りをされているのかが、分かって良かった。 学校だけでなく、寄宿舎でも災害時や非常時の避難訓練や救急処置の対応訓練がなされた。											
	② 災害や不審者対応等の緊急時の対応を整備することができたか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>46</td> <td>47</td> <td>7</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>47</td> <td>45</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>				評価	4	3	2	1	①	46	47	7	0	②
評価	4	3	2	1												
①	46	47	7	0												
②	47	45	7	1												
説明責任	① 保護者に学校や学部（学級）の情報を伝えることができたか。	○学級・学年通信・保健たよりや図書たより等で保護者に必要な情報を伝えている。 ○地域への情報発信としては、校外での児童生徒の作品展示や学校HP等で発信している。HP更新は頻度を高めて最新の情報提供に努めている。 保護者アンケートより (%)	3	4	各種の通信やたよりはもちろん、みや央メール（防災メール）での適切な情報発信がされて、保護者も安心して子供を預けることができた。 HPの更新も頻繁になされており、地域や関係機関への情報提供も適切であった。											
	② 地域・関係機関に学校の取組や必要な情報を伝えることができたか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>54</td> <td>39</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>33</td> <td>58</td> <td>8</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>				評価	4	3	2	1	①	54	39	6	1	②
評価	4	3	2	1												
①	54	39	6	1												
②	33	58	8	1												
センター的役割	① 地域の小・中学校等を対象に特別支援教育に関する相談・情報提供をすることができたか。	○平成29年2月3日にROS（リレーショナルオープンスクール）を実施して幼稚園・保育所から高等学校まで幅広く研修の機会を設けた。次年度以降も開催時期や参加しやすさを追求したい。	4	4	ROSの参加者が今後増加するように、開催日や授業公開の内容を検討して欲しい。そして、参加者がみやざき中央支援学校を頼りにするようつながりが出来ることを期待したい。											
	② 福祉や医療関係機関等との連携を図ることができたか。	○ケース会への出席、医療面でのサポート等について福祉、医療関係等との連携に努めている。保護者を含めた相互理解の上での解決を図っていけるように対応している。														